

校長室から感じたままに No10

9月は例年にも増して暑さが厳しかったのですが、10月に入ると朝晩は涼しく、教室の窓から入ってくる風にも秋の気配を感じるようになりました。

先日、交流学級で（1年と6年・2年と4年・3年と5年）体力テストを行いました。昨年はコロナの影響もあり、なかなか交流できていなかったのですが、今年は子供たちのほほえましい姿がたくさん見られ、嬉しく思いました。

1年生と6年生のシャトルランでは、1年生が走るのを6年生が応援し、最後まで頑張る様子にみんなで大きな拍手を送る姿が見られました。1年生は6年生の応援があって、自分が持っている力以上のものが発揮できたようです。交流学級の良いところは、上学年が下学年の面倒を見ること、そして下学年の子供たちが「あんなお兄さんお姉さんになりたい。」という気持ちを持つことだと思います。特に今まで下学年だった4年生は、2年生の面倒を張り切っていました。そういう気持ちを大切にこれからも子供たちを育てていきます。

先日、七林中学校の体育祭を見に行かせてもらいました。七林小学校の卒業生である生徒たちが実にのびのびと体育祭を楽しみ、頑張る姿に感動しました。

午後の部に行われた5色に分かれた応援合戦。ここでも最上級生である3年生が1・2年生をリードし、音楽に合わせてみんなが体全体で自分を表現していました。その姿がとても素敵で、見ている人が笑顔になりました。

きっとここでも「あんな先輩になりたい」と誰もが思ったのではないかと思います。

七林小学校の運動会は、28日に行われます。今からどんなドラマが生まれるのかと楽しみにしています。